

DLP® プロジェクター

RICOH PJ WXL4760



■ 機器概要

本製品は、レーザー光源を搭載したコンパクトで軽量の、短焦点プロジェクターです。オフィスや教室の環境で、最大100型程度の大画面投影に適しています。

■ 機器仕様

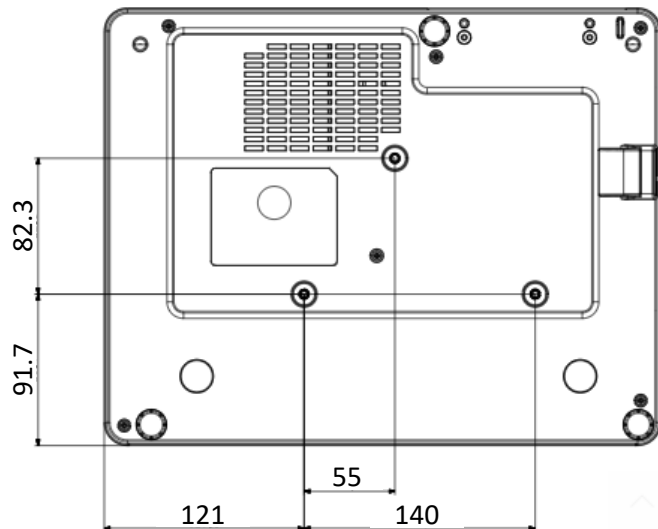
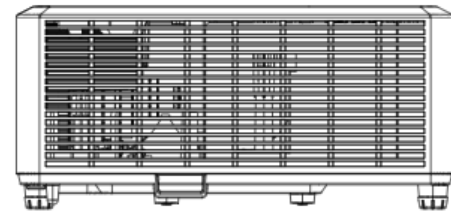
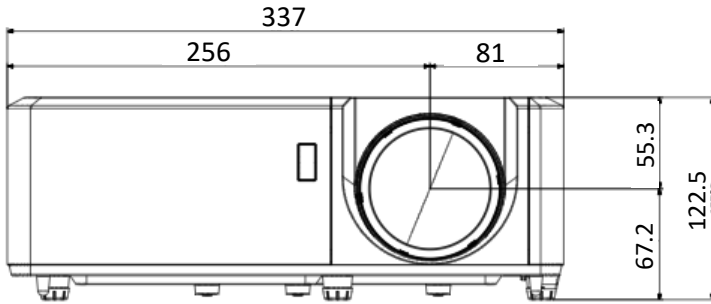
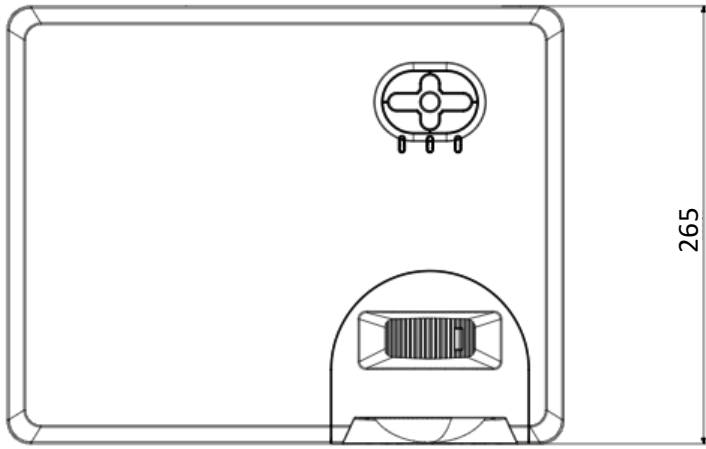
		RICOH PJ WXL4760
方式		単板DLP®方式
画素数		1,024,000画素(1280×800)
パネル形状	サイズ	0.65型
	アスペクト比	16:10
出力光束(明るさ)*1		4,000lm
色再現性		約10億7300万色
コントラスト比*1		100,000:1
投写画面サイズ		35.6 ~ 300型
投写距離		0.4 ~ 3.76m
光源	種類	レーザーダイオード
	寿命*2	20,000 時間 (標準モード)/30,000 時間 (エコモード)
RGB対応信号	リアル解像度	WXGA(1,280×800ドット)、XGA(1,024×768ドット)、SVGA(800×600ドット)、VGA(640×480ドット)
	圧縮表示	4K(3,840×2,160ドット)、WUXGA(1,920×1,200ドット)、FullHD(1,920×1,080ドット)、UXGA(1,400×1,050ドット)、SXGA(1,280×1,024ドット)
コンポジット信号		-
アナログRGB対応走査周波数*3	水平	31.5~101.6kHz
	垂直	50~120Hz
投写レンズ	明るさ:F値	F : 2.8
	焦点距離:f値	F : 7.51mm
	倍率	-
	ズーム	-
	フォーカス	手動
	レンズシフト	-
インターフェース	コンピューター入力	ミニD-sub 15ピン×1、HDMI1 (HDMI 1.4, タイプA, HDCP 1.4)、HDMI2/MHL (HDMI 2.0, タイプA, HDCP2.2 / MHL 2.2)
	コンピューター出力	ミニD-sub15pin×1
	ビデオ入力	RCAピンジャック×1
	ビデオ出力	-
	音声入力	3.5Φステレオミニピンジャック×1、マイク×1
	音声出力	3.5Φステレオミニピンジャック×1
	USB	Type-A×1(給電用、5V/1.5A)、mini-B×1(メンテナンス用*4)
	有線LAN	RJ45(10BASE-T/100BASE-TX)×1(プロジェクター制御用)
	無線LAN	-
RS232C	D-sub9pin ×1(プロジェクター制御用)	

		RICOH PJ WXL4760
台形ひずみ補正の種類/範囲		自動台形補正(垂直)/補正角度±15° 手動台形補正(垂直)/補正角度±15° 手動台形補正(水平)/補正角度±15° 4点補正
設置方式		床置き前面、床置き背面、天吊り前面、天吊り背面
内蔵スピーカー		8W×2
寸法(W×D×H)		337×265×108mm(突起部含まず)
質量		約4.3kg
消費電力	稼動時	標準モード:300W、エコモード:216W
	待機時	通常待機モード:0.4W
騒音		標準モード:34dB(A),最大36dB(A) エコモード:32dB(A),最大34dB(A)
使用環境		温度0~40℃、湿度20~85%(非結露)
電源		100V±10%、50Hz/60Hz
レーザー規格分類		クラス1(IEC 60825-1:2014) リスクグループ2(IEC 62471-5:2015)
本体同梱品	ケーブル	HDMIケーブル 1.8m、電源ケーブル(2pin) 1.8m
	CD-ROM	使用説明書、プロジェクター管理ユーティリティ
	キャリングケース	専用キャリングケース
	リモコン	ワイヤレスリモコン
	その他	はじめにお読みください、リコーテクニカルコールセンターシール、マイバング&QA 登録票、保証書、リモコン用単4乾電池×2
保守サービス証書		—
本体保証期間*5		3年間無償保証

- *1. 出荷時における本製品の全体的な平均値で、JIS X6911：2015データプロジェクターの仕様書様式に則って掲載しており、測定方法・測定条件については、附属書に基づいています。
- *2. 出力光束(明るさ)が半減するまでの、使用時間の目安です。
- *3. この範囲の対応信号にプリセットされています。プリセット以外の信号の場合、対応範囲内であっても表示できない場合があります。
- *4. サービスマンによるメンテナンス用として利用。
- *5. 天吊り・壁掛け設置の場合、機械の上げ下ろし作業は別途、個別のお見積となります。

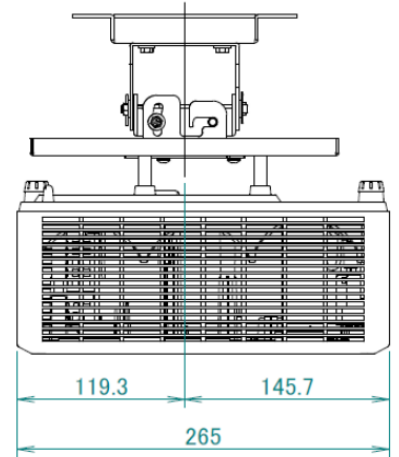
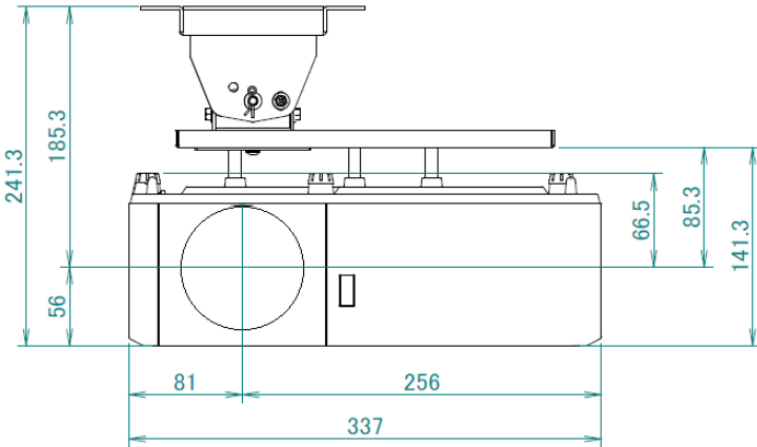
■外形寸法図

(単位 : mm)



■天吊り金具装着図
IPSiO PJ 天吊り金具 タイプ1 装着

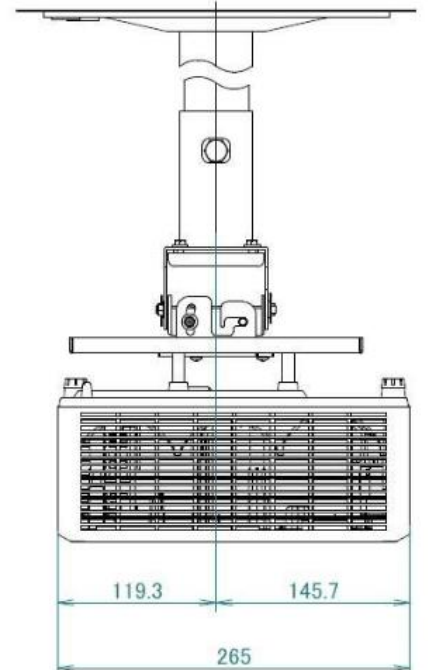
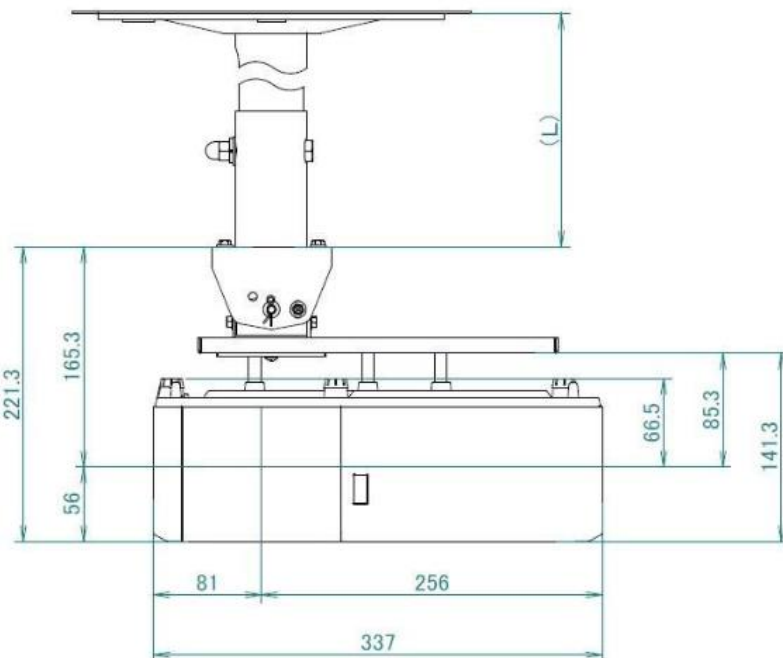
(単位 : mm)



■天吊り金具装着図
IPSiO PJ 天吊り金具 タイプ1 +高天井用パイプキット、高天井パイプ タイプ1～8 装着

(単位 : mm)

IPSiO PJ パイプ	組み合わせ寸法 L(mm)
タイプ1	450-550
タイプ2	550-700
タイプ3	700-850
タイプ4	850-1000
タイプ5	1000-1150
タイプ6	1150-1300
タイプ7	1300-1450
タイプ8	1450-1600



■ 投写距離と画面サイズの関係

プロジェクターとスクリーンの距離によって、投写される画像のサイズは異なります。

表を参考にして、適切な位置に本機を設置してください。

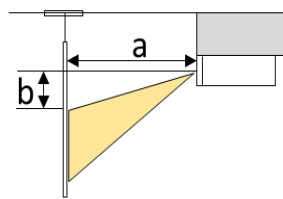
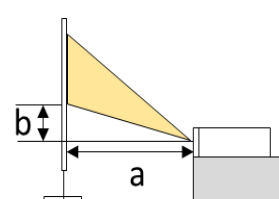
投写距離は最大表示解像度の映像を台形補正なしで投写したときのおおよその値です。

投写距離計算式は簡易計算式のため若干の誤差があります。

弊社ホームページの「投写距離シミュレーター」もあわせてご活用ください。

<http://www.ricoh.co.jp/projector/simulator/>

◆ 投写距離と画面サイズ一覧



・投写距離a：投写面から、光学位置までの距離

・投写高さb：画面下端から、光学位置までの距離

<画面アスペクト比 16:10>

画面サイズ(型、インチ)	36	40	60	80	90	100	120	150	200	300
投写距離 a (m)	0.40	0.45	0.67	0.90	1.01	1.12	1.35	1.68	2.24	3.37
投写高さ b (cm)	5.7	6.4	9.5	12.7	14.3	15.9	19.1	23.8	31.8	47.7

投写距離 a 計算式	投写高さ b 計算式
$\frac{\text{画面サイズ(型)} - 0}{89.110}$	画面サイズ(型) × 0.159

<画面アスペクト比 16:9>

画面サイズ(型、インチ)	35	40	60	80	90	100	120	150	200
投写距離 a (m)	0.40	0.46	0.69	0.92	1.04	1.15	1.38	1.73	2.31
投写高さ b (cm)	8.1	9.3	13.9	18.6	20.9	23.2	27.9	34.9	46.5

投写距離 a 計算式	投写高さ b 計算式
$\frac{\text{画面サイズ(型)} - 0}{86.699}$	画面サイズ(型) × 0.232

<画面アスペクト比 4:3>

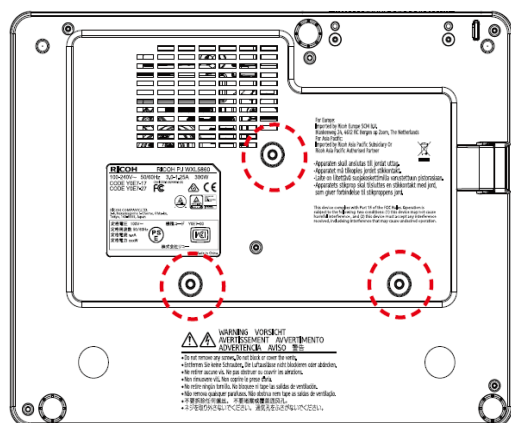
画面サイズ(型、インチ)	35	40	60	80	90	100	120	150	200
投写距離 a (m)	0.44	0.51	0.76	1.02	1.14	1.27	1.52	1.91	2.54
投写高さ b (cm)	6.3	7.2	10.8	14.4	16.2	18.0	21.6	27.0	36.0

投写距離 a 計算式	投写高さ b 計算式
$\frac{\text{画面サイズ(型)} - 0}{78.714}$	画面サイズ(型) × 0.180

■設置の注意点

設置をされるかたへ

- 本機の質量(約5kg)に耐えられる強度の金具を使用してください。
- 本機と金具の総質量に耐えられる強度の場所だけに設置してください。
- 金具の取り付けには、M4ねじ(プロジェクター内最大9mm)3本を使用してください。
- 壁掛け・天吊り用のねじ穴は、本機底面の次の3カ所にあります。金具の取り付けにはすべてのねじ穴を使用して、ねじがしっかりと締まっているか確認してください。



⚠警告



- 油煙が多い場所や薬品等が付着しやすい場所に天吊り・壁掛け設置しないでください。プロジェクターの樹脂が劣化し落下による事故の原因になります。
- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機を清掃したり、部品の交換をしたりしないでください。落下によるけがの原因になります。
- 天吊り・壁掛け設置しているときは、本機の清掃や部品の交換を販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

⚠警告



- 本機の天吊り・壁掛け設置は、正しく設置されていないと落下などによる事故の原因となります。天吊り・壁掛け設置は、販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。
- 本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

警告



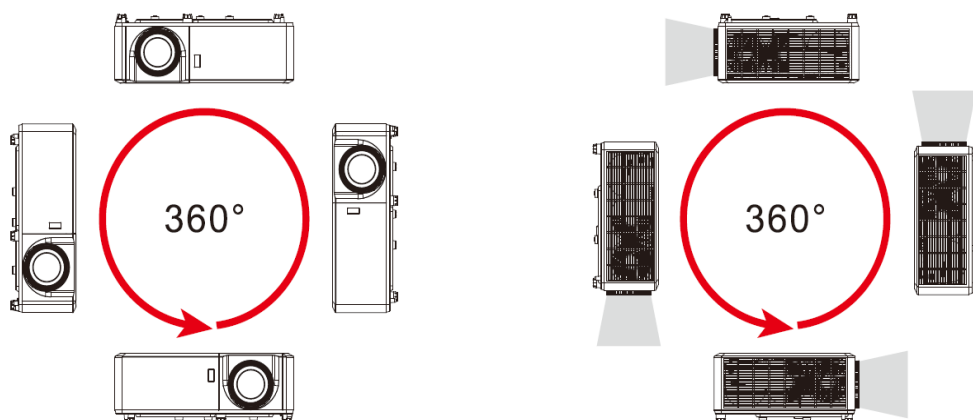
• 360度設置を行う場合は本機の設置は、正しく固定されていないと落下などによる事故の原因となります。販売担当者またはサービス実施店に連絡してください。

360度設置について

本機は、360度方向の投影が可能です。

本機の質量に耐えられる強度の金具を使用してください。

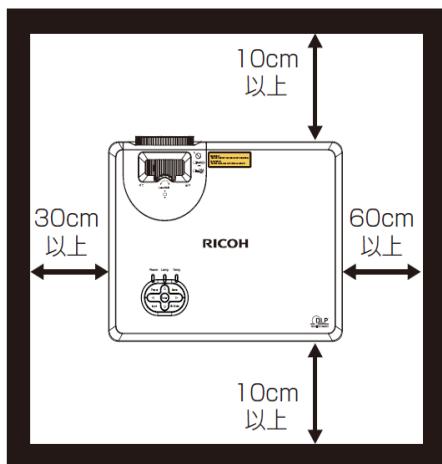
また、プロジェクターがしっかりと固定されていることを確認してください。



⚠️ 注意



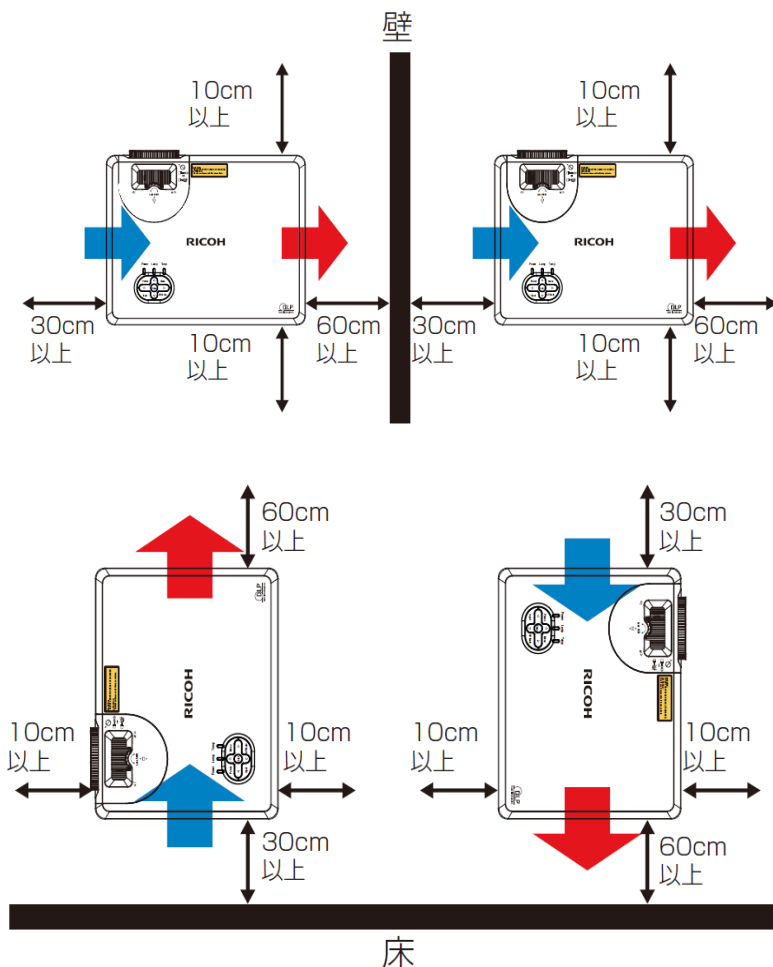
- 吸気口と壁との間は30cm以上、排気口と壁との間は60cm以上、その他の面と壁との間は10cm以上離して設置してください。プロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。



⚠️ 注意



- 本機の吸気口・排気口が上下方向となる設置においては、吸気口と壁との間は30cm以上、排気口と壁との間は60cm以上、天井や床との間は10cm以上離して設置してください。プロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。また、2台並べて設置するときは、排気口からの熱風が直接吸気口に入らないように、間に壁などを設けてください。



送信条件: 9600bps、パリティ無し、8bit、ストップビット1bit

コマンドの構成
送信コマンド

P I C : 0 CR

コマンドの最後にはCRコード(0Dh)を置きます
 パラメーター: 設定するパラメーターなどを置きます。
 コマンドとパラメーターの間には、「:」を置きます。
 コマンド: 英文字3文字のコマンドを置きます。(小文字は不可)
 ヘッダー: 先頭には必ず「#」を置きます。

リターン(正常時)

= P I C : 0 CR

コマンドの最後にはCRコード(0Dh)が入ります。
 パラメーター: 調整・設定系コマンドでは実際に調整・設定された値が入ります。
 実行系コマンドでは、「SC0」の文字が入ります。
 コマンドとパラメーターの間には、「:」が入ります。
 コマンド: 実行したコマンドが入ります。
 ヘッダー: リターンの先頭には「=」が入ります。

リターン(エラー時)

= E R 0 CR

設定コマンド
値を指定するとき

P I C : 1 CR

設定したい値を置きます。

実行コマンド

P O F CR

リターン(正常時)

= P O F : S C 0 CR

情報取得コマンド

S P S CR

リターン(正常時)

= S L T : 3 H 1 5 M CR
 = S S V : B 0 2 - M 0 5 - L 0 1 CR

時間を表すときは、「3H15M」(3時間15分)の形式でリターンします。
 DDP、MCU、LANバージョンの順番でリターンします。

<注意>

電源オフ時のコマンドには、以下の制限があります。

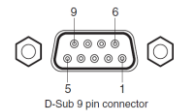
- 電源オフ時には、PON、SPS、SERコマンドのみを受け付けます。
- 電源オン・オフ時などに、コマンドに対するリターン以外の文字が出力されることがあります。
- PGとの接続には、市販のストレート結線のケーブルをご使用ください。

TELNETのサポート

TELNET標準ポート(TCP:23)によるコントロールも本コマンドにより可能です。
 スタンバイ時に使用する場合は、[設定]→[ネットワーク(スタンバイ)]を「入」にしてください。

コネクタ端子配置図

ピン番号	
1	NC
2	送信データ
3	受信データ
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



D-Sub 9 pin connector

コネクタタイプ: オス

NC-何も接続しないでください

	コマンド	基本コマンド 実行または 設定値取得	パラメーター指定 [Prm]にはパラメー ターを設定。	設定できるパラメーター 調整値の範囲	備考
実行コマンド					
電源オン	PON	#PON[CR]			
電源オフ	POF	#POF[CR]			
設定コマンド					
映像モード	PIC	#PIC[CR]		0~4	
高輝度=0			#PIC:0[CR]		
標準=1			#PIC:1[CR]		
sRGB=2			#PIC:2[CR]		
ビッド=3			#PIC:3[CR]		
DICOM SIM=4			#PIC:4[CR]		
アスペクト	SCS	#SCS[CR]		0~3	
Normal=0			#SCS:0[CR]		
4:3=1			#SCS:1[CR]		
16:9=2			#SCS:2[CR]		
16:10=3			#SCS:3[CR]		
設置状態	PJM	#PJM[CR]		0~3	
標準=0			#PJM:0[CR]		
背面=1			#PJM:1[CR]		
天吊り=2			#PJM:2[CR]		
背面天吊り=3			#PJM:3[CR]		
自動電源オフ	NPF	#NPF[CR]		0~3	注1
Off=0			#NPF:0[CR]		
30min=1			#NPF:1[CR]		
20min=2			#NPF:2[CR]		
10min=3			#NPF:3[CR]		
5min=4			#NPF:4[CR]		
自動入力検索	AIS	#AIS[CR]		0~1	
切り=0			#AIS:0[CR]		
入り=1			#AIS:1[CR]		
電源オン方法	APM	#APM[CR]		0~1	
手動=0			#APM:0[CR]		
自動=1			#APM:1[CR]		
ランプパワー	LPM	#LPM[CR]		0~2	
標準=0			#LPM:0[CR]		
ECO=1			#LPM:1[CR]		
Image ECO=2			#LPM:2[CR]		
テストパターン	DTP	--		0~2	設定値取得はできません。
Off=0			#DTP:0[CR]		
Grid=1			#DTP:1[CR]		
White=2			#DTP:2[CR]		
NCE (カラーエンハンサ)	CES	#CES[CR]		0~1	
切り=0			#CES:0[CR]		
入り=1			#CES:1[CR]		
AVミュート	MUT	#MUT[CR]		0~1	
切り=0			#MUT:0[CR]		
入り=1			#MUT:1[CR]		
フリーズ	FRZ	#FRZ[CR]		0~1	
切り=0			#FRZ:0[CR]		
入り=1			#FRZ:1[CR]		
入力切替(ダイレクト)	INP	#INP[CR]		0~3	
コンピューター=0			#INP:0[CR]		
HDMI1=1			#INP:1[CR]		
HDMI2/MHL=2			#INP:2[CR]		
ビデオ=3			#INP:3[CR]		
調整コマンド					
音量	VVL	#VVL[CR]	#VVL:[Prm][CR]	0~20	
レーザー電力(通常時)	LPN	#LPN[CR]	#LPN:[Prm][CR]	50~100	注3
情報取得コマンド					
動作状態	SPS	#SPS[CR]			0:スタンバイ 1:投影準備中 5:通常オン 7:冷却中 9:エラーによるシャットダウン
信号入力	SIS	#SIS[CR]			0:コンピューター-1、1:HDMI、2:HDMI2/MHL 3:ビデオ、 S:検索中、E:その他
エラー	SER	#SER[CR]			注2
レーザー時間	SLT	#SLT[CR]			=SLT3H15M(3時間15分)の型でリターンされます。
ソフトウェアバージョン	SSV	#SSV[CR]			DDP,MCU,LANの順でバージョンがリターンされます。

注1) 本体OSD MENUで無信号電源OFFを5/10/20/30分以外に設定をすると、#NPF[CR]を送った時にエラーが返されます。

注2) EWOSの文字の組み合わせでリターンします。W:警告、O:正常、E:その他エラー (本機ではWの状態はありません)

各文字は右の状態を表します 1文字目:光源、2文字目:ファン、3文字目:温度、4文字目:CW

(例) "OE00" ファンエラー

注3) レーザー電力モードが「標準」のときのレーザー電力を設定します。レーザー電力モードが「標準」以外に設定されているとエラーを返します。